

2020/06/08

緊急事態宣言による保育・教育への影響に関する調査

(報告書：速報版)

研究責任者

広島文化学園大学 教授 山崎 晃

I. 研究の目的

今般の新型コロナウイルス感染症の影響は、社会全体に及んでいる。年度末に発令された緊急事態宣言により、学校園の休校・休園、保育所においては受入規模の縮小などの影響が見られる。そのため幼稚園・保育所から小学校へのスムーズな移行や情報伝達の機会の喪失、幼稚園や保育所等での日常の保育活動の制限や停止、入学式や交流行事などの中止や延期などさまざまな活動に影響が及んでいる。とりわけ就学前施設から小学校への移行に関しては深刻な影響を及ぼす可能性がある。そこで、幼稚園・保育所の保育者と小学校教員が、現状をどのように捉え、どのようにこれからこの問題に対処しようとしているかを明らかにすることは、幼児教育、小学校教育をどうすすめていくかに重要な情報を提供することにつながる。具体的には、現在の状況を踏まえ、(1)就学前施設の保育者と小学校教員を対象に、「カリキュラム」に関する課題の把握・認識、(2)課題に対する対処及びそれを踏まえた今後の対応や対処、(3)子どもの発達に予想される影響と克服に関する考え方等、を捉える。

II. 研究の方法

1. 研究の対象と実施時期

就学前施設の保育士・幼稚園教諭、小学校教諭を対象として2020年5月19日から5月29日にかけて調査を実施した。

2. 調査内容

新型コロナウイルス感染症の影響下にある幼稚園・保育所・小学校の状況を踏まえ、

(1) 就学前施設から小学校への移行に関する実態調査・意識調査を行う。

(2) カリキュラムの修正や保育・授業の工夫、対処法を調査する。

(3) 子どもの発達や学習に関して、どのような影響があるか、それを最小限にするための方略・進め方・方向性について尋ねた。具体的な質問項目は後述の通りである。

3. 調査方法

Google フォームを用いてアンケートを作成し、縁故法により Web 調査を実施した。倫理的配慮については、アンケートの冒頭に、下記の通り記載した。

●このアンケートへの回答は自由です。答えたくない質問については、回答していただくなくても構いません。また、途中でやめなくなった場合は、回答を中止・撤回することができ

ます。回答を拒否・撤回したり、アンケートを中止したりしても、みなさんが不利益を受けることはありませんし、回答内容によってみなさんが不利益をこうむることは一切ありません。

●このアンケートでは、みなさんのお名前・所属先・メールアドレス等は収集せず、回答していただいた内容は全体的な傾向の把握にのみ使用し、個人が特定される形で公表・発表されることはありません。

●本調査は広島文化学園大学学芸学部・大学院教育学研究科研究倫理審査委員会の承認を受けています。また、科学研究費補助金（研究課題：19K02604）の助成を受けて実施するものです。ご不明な点などございましたら研究責任者・実施者までお気軽にご連絡ください。

◎研究責任者：広島文化学園大学 教授 山崎 晃 (a-yamazaki@hbg.ac.jp)

○研究実施者：香川大学 准教授 松井剛太 (matsui.gota@kagawa-u.ac.jp)

比治山大学 講師 濱田祥子 (shamada@hijiyama-u.ac.jp)

宮城教育大学 准教授 越中康治 (etchu@staff.miyakyo-u.ac.jp)

III. 結果

結果として 375 名から回答を得た。以下では、このうち本研究の対象外であった 5 名を除く 370 名分のデータを分析の対象とした。

1 - 1. 回答者の勤務先

「あなたの勤務先を教えてください」と尋ね、「幼稚園」「保育所」「認定こども園」「小学校」「その他」から選択を求めた。結果として、回答者の所属は幼稚園 29 名、保育所 193 名、認定こども園 71 名、小学校 77 名であった。割合を図 1 に示す。

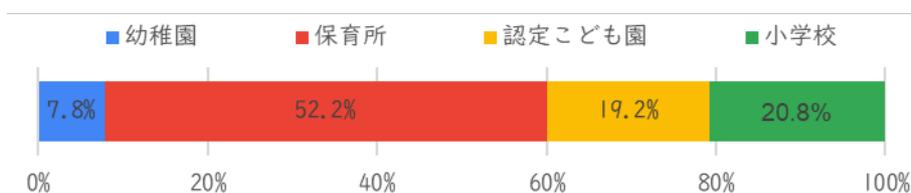


図 1 回答者の勤務先

1 - 2. 勤務先の公立・私立の別

「勤務先の公立・私立の別を教えてください」と尋ね、「公立」「私立」「その他」から選択を求めた。結果として、勤務先について、就学前施設は多くが私立、小学校は多くが公立であった（図 2）。

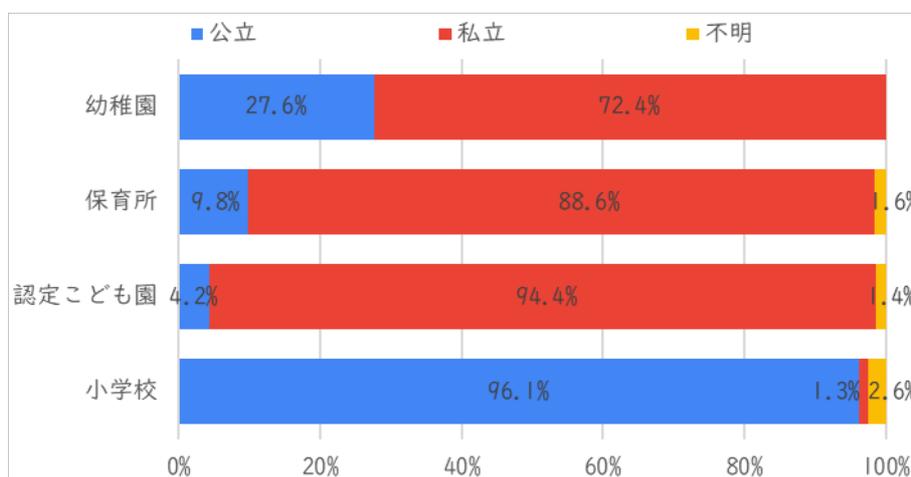


図 2 回答者の勤務先

1 - 3. 勤務先の都道府県

「勤務先の都道府県を教えてください」と尋ね、自由記述を求めた。結果として、回答者の勤務先は 24 の都道府県にわたった。回答者数と割合を表 1 に示す。

表1 勤務先の都道府県

都道府県	回答者数	割合	都道府県	回答者数	割合	都道府県	回答者数	割合
宮城県	148	40.0%	宮崎県	3	0.8%	新潟県	1	0.3%
広島県	84	22.7%	北海道	2	0.5%	栃木県	1	0.3%
東京都	39	10.5%	神奈川県	2	0.5%	京都府	1	0.3%
香川県	38	10.3%	千葉県	2	0.5%	三重県	1	0.3%
福岡県	10	2.7%	島根県	2	0.5%	高知県	1	0.3%
山形県	8	2.2%	熊本県	2	0.5%	鹿児島県	1	0.3%
沖縄県	7	1.9%	青森県	1	0.3%	不明	3	0.8%
山口県	6	1.6%	岩手県	1	0.3%			
長崎県	5	1.4%	福島県	1	0.3%	合計	370	100.0%

2-1. 勤務先の休園・休校の状況

「あなたの勤務先の休園・休校の状況を教えてください」と尋ね、「現在も休園・休校中」「休園・休校ののち再開」「休園・休校せず」「その他」から選択を求めた。結果として、調査実施時（5月下旬）において、幼稚園や小学校は3～4割が「休園・休校中」であり、「休園・休校ののち再開」も同じ程度の割合であった。他方、保育所及び認定こども園では「休園せず」が約8割であった。

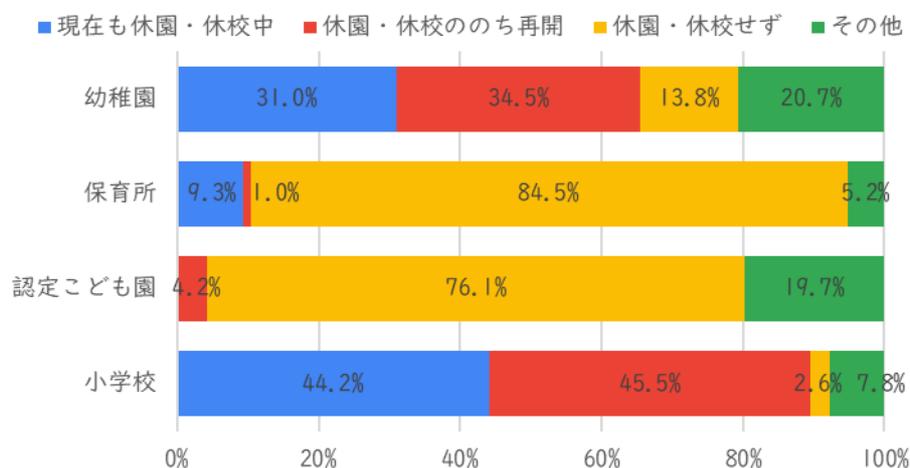


図3 休園・休校の状況

2-2. 休園・休校の期間

「休園・休校があった場合、その期間（現時点での予定を含む）を教えてください」（例：「3月2日から5月31日まで（予定）」「3/3～未定」など）と尋ね、自由記述を求めた。結果として、休園・休校の期間は多岐にわたったが、「3月2日～5月31日」が30件、「4月20日～5月31日」が12件と比較的多くなっていた

2-3. 休園・休校明けに気がつけたこと

「休園・休校があった場合、休園・休校明けに特に気がつけられたこと（あるいは、特に気を付けようと思われていること）を教えてください」と尋ね、自由記述を求めた。KH Coder を用いて記述を概観した結果（図4）から、「感染予防対策」「心のケア」「密を避ける・マスクの着用・消毒・喚起・手洗いの徹底」「体調・健康・衛生の管理」「生活リズム」といったことが気を付けるポイントになっていることが窺える。

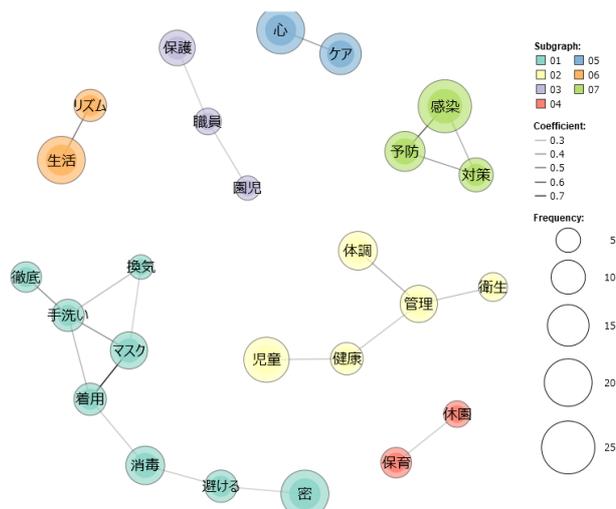


図4 休園・休校明けに気がつけたこと

2-4. 入園式・入学式の実施状況

「入園式・入学式は実施されましたか」と尋ね、「実施された」「実施されていない」「その他」から選択を求めた。結果として、幼稚園・認定こども園・小学校は約8割が入園式・入学式を実施していたが、保育所では5割程度にとどまっていた。なお、保育所ではそもそも入園式を実施していないとの回答もあった。なお、「その他」には「今後実施予定」という回答や「短縮して実施した」などの回答があった。

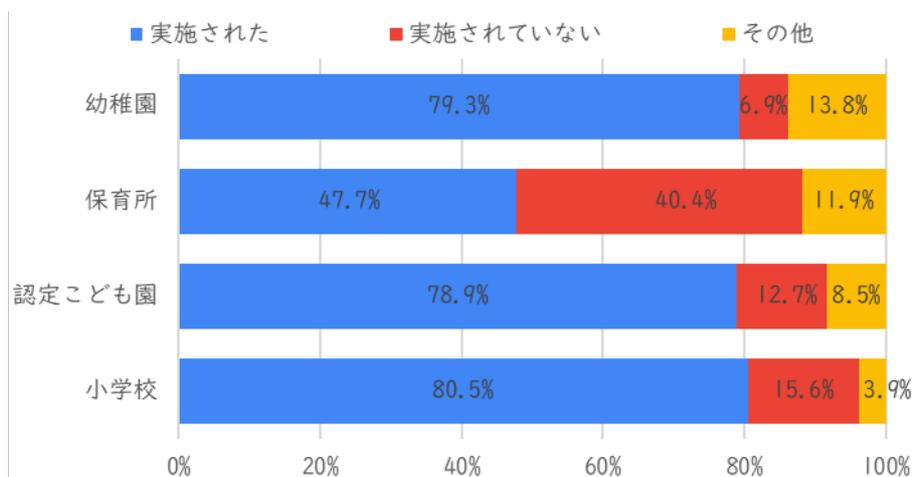


図5 入園式・入学式の実施状況

3-1. 新1年生に関する情報の引き継ぎへの影響

「あなたの勤務先では、今回の新型コロナの影響で、現在の新1年生に関して、就学前施設から小学校への情報の引き継ぎなどに影響はありましたか」と尋ね、「あった」「なかった」「その他」から選択を求めた。結果として、8割以上が影響はなかったと回答しており、新1年生に関する情報の引き継ぎへの影響は限定的であった。

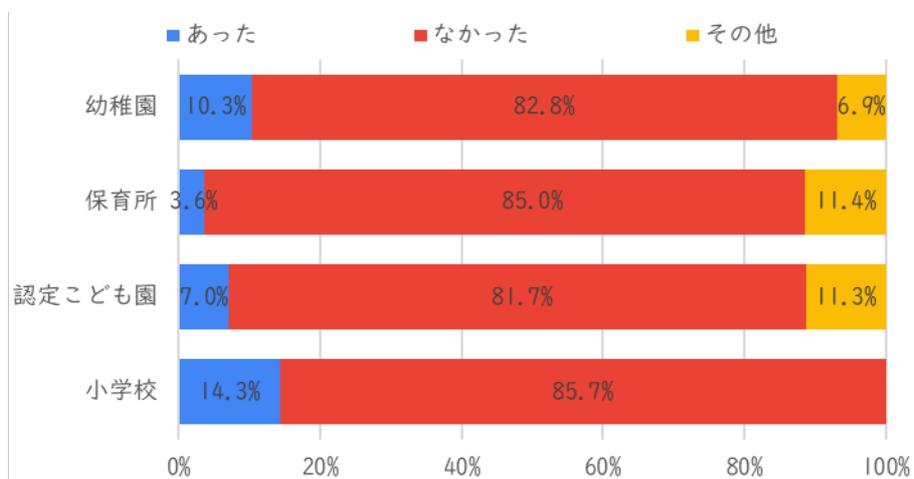


図6 新1年生に関する情報の引き継ぎへの影響

3-2. 情報の引き継ぎに関する困難や工夫

「情報の引き継ぎなどに影響があった方は、どのような影響があったか、困ったことや工夫したことなどを教えてください」と尋ね、自由記述を求めた。引き継ぎに影響があったとの回答は1割程度と少数であったが、「3月後半の引き継ぎが出来なかった」（保育所）、「引き継ぎのための話し合いの場が中止になった」（認定こども園）、「従来は訪問しての直接の聞き取りであったが、今年は電話での聞き取りであった」（幼稚園）、「聞き取りが出来てい

ない」(小学校)など、これまで行ってきた対面での情報交換ができず、電話や文書だけ、あるいは情報交換自体ができなかったケースもあることが確認された。

4-1. 就学前施設と小学校との交流や行事への影響

「あなたの勤務先では、今年度計画されていた就学前施設と小学校との交流や行事に影響が生じていますか」と尋ね、「生じている」「生じていない」「その他」から選択を求めた。結果として、幼稚園・保育所・認定こども園・小学校のいずれにおいても、半数程度が影響が生じていると回答していた。

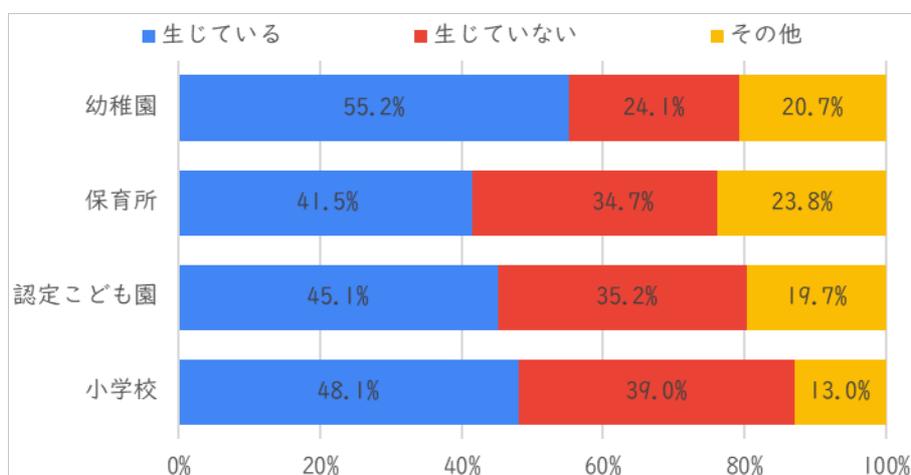


図7 就学前施設と小学校との交流や行事への影響

4-2. 交流や行事に関する困難や工夫

「交流や行事に影響が生じている方は、どのような影響があったか、困ったことや工夫したことなどを教えてください」と尋ね、自由記述を求めた。結果として、以下のような困難と工夫が記されていた。

(1) 影響 (交流活動の中止・延期・再調整)

- ・交流会が保留のため、細やかに小学校と連携し、なるべく実施できるように調整中。
- ・合同の運動会が中止、幼小交流の打ち合わせができておらず、いつから交流ができるかも未定のまま。
- ・3密を避けるために異学年交流は全てカット。
- ・保育園や幼稚園の先生が小学校に来て、一年生の授業を参観したり、一年生担任と情報を交換する「保幼連絡会」が中止になった。

(2) 工夫

(就学前)

- ・卒業式・入学式等の参加ができなかった。様子は学校からの新聞等で知ることはできた。
- ・交流や行事がなくなった。写真を送り合って情報共有している。
- ・小学校との交流行事がなくなり、小学校というもののイメージがしづらくなった。絵本や写真を見せることでイメージがわくようにしている。

(小)

- ・新入生は6年生の一部の児童としか関わりが持っていない。新入生歓迎会も行われていないため、入学式では、2年生がお祝いのメッセージと歌をVTRで披露した(小)。
- ・学校再開のガイドラインを基にした行事の精選、また年間標準時数の確保のための行事や交流の精選

5-1. 就学移行期のカリキュラムへの影響

「あなたの勤務先では、今年度の就学移行期のカリキュラム(アプローチカリキュラムやスタートカリキュラム)に影響が生じていますか」と尋ね、「生じている」「生じていない」「就学移行期のカリキュラムがない」「その他」から選択を求めた。結果として、影響が生じているという回答は保育所において約2割、幼稚園・認定こども園では3割強と少なかったが、小学校においては6割強において影響が生じていることが示された。

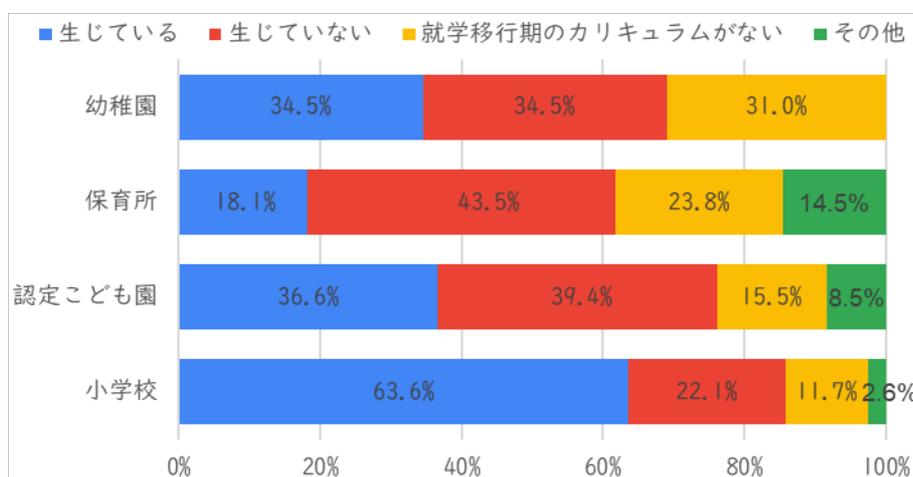


図8 就学移行期のカリキュラムへの影響

5-2. 就学移行期のカリキュラムに関する困難と工夫

「カリキュラムに影響が生じている方は、どのような影響があったか、困ったことや工夫したことなどを教えてください」と尋ね、自由記述を求めた。結果として、以下のような困難と工夫が記されていた。

(1) 影響

- ・小学校との交流事業がなくなり、アプローチカリキュラムをどのように実施していくか検討中。
- ・当初立てたスタートカリキュラムが実施できなかった。再開された時のために見直しをしているが、時間的な余裕がないため、当初のようなゆったりしたものにならない。しかも、児童の実態は差が出ている。
- ・スタートカリキュラムに、一年生と他学年との交流が設けられているが、コロナウイルスの影響で交流がなくなった。
- ・入学後、学校生活に慣れるための指導や安全指導が十分にできていない。
- ・登下校指導、高学年との交流活動、簡易給食指導が通常どおり実施できない。
- ・1年生が学校に慣れる時期が大きくずれている。学習する内容も、遅れを取っている。

(2) 工夫

- ・当園では、計画自体を後ろに少し詰めたり、施行しない事柄や変更して行う計画を作る事が必要になっています。また、子どもの教育的な意味での成長状況の確認時期を遅らせる様にしました。
- ・保育所は休園していないので、今のところアプローチカリキュラムを実施できている。
- ・4月にできなかったことを6月からやります。
- ・6月から、一から楽しく学校生活を送れるようなプログラムを組んだ。
- ・数少ない登校日に、これから学習する内容の宿題を出した。できるだけスムーズに1年生の勉強ができるようにしている。

6-1. 次年度に向けて懸念されること

「就学前施設から小学校への引き継ぎに関して、次年度に向けて懸念されることがあればお教えてください」と尋ね、自由記述を求めた。結果として、以下のような懸念が示されていた。

1. 対面での連携について

- ・全園児、書面だけの引継ぎになるのではないかと懸念されている。
- ・小学校の先生方と直接話しての情報伝達が例年のように出来ないことが予想される。
- ・今年度は、コロナ禍以前に引き継いでいたため、影響が少なかったが、次年度は対面での引き継ぎができるのか心配である。

2. 授業・保育参観について

- ・今後見学等が出来るか確認するが、多くの関わりは持ちにくくなるのではないかと懸念されている。
- ・互いの授業・保育参観ができるかということ。

3. 9月入学について

- ・9月入学案について、本当にそんなことになったら学年のくくりがどうなるのか、どこまでの子どもを対象に就学に向けた準備をしていかなければならないのか心配しています。
- ・9月入学が進めば、どのように対処していくのか、不安はある。
- ・9月入学による人数の増加。

4. 特別な配慮を要する子どもについて

- ・直接引き継ぎができる幼保小連絡会が文書のみになった場合、要配慮のお子さんの引き継ぎを丁寧に行うことが難しくなるのではないかと心配である。
- ・特に発達障害の子は様子やサポート仕方などの共有を行えた方がお互い安心だと思うので、共有会などが中止でも資料などを通して共有ができればなと思います。

6-2. どのようなサポートが欲しいか

「引き継ぎ等に関してどのようなサポートが欲しいかをお教えてください」と尋ね、自由記述を求めた。結果として、以下のようなサポートが求められていた。

1. オンライン環境

- ・今回は史上まれにみる事態となっているが、リモートを使用する等、直接会ってやり取りする方法ではないやり方を考慮していくべきと思う。
- ・個別にでも引き継ぐ機会、リモートなどで実施してほしい。
- ・小学校サイドのネット環境。
- ・書面だけではなく、オンラインでもいいので話せる環境が欲しい。
- ・Webを使ってでも行ってほしい。
- ・区内の幼保小が集まって、一斉の引き継ぎ会があるが、集まらない場合の代替手段、オンライン化などが必要と考える。

2. 対面での工夫

- ・どのような状況においても、引き継ぎは100%確実に直接顔を見て行いたい。
- ・行えない時は状況に応じて、面談する部屋を換気しながら少人数で行うなどの工夫をしていただけるとありがたいです。

3. 電話での引き継ぎ

- ・一度に集まるのではなく、引き継ぎ日を数日設けていただきたい。または、文書での引き継ぎのみになった場合、後日電話での引き継ぎなどの時間があると安心である。
- ・書類では伝え切れない細かな点を、電話でもいいので引き継ぎ出来ることを望む。

7-1・2 今後予想される困難とその対処

「カリキュラム・教育（保育）課程に関して、今後予想される混乱はどのようなことですか」（7-1）、「カリキュラム・教育（保育）課程に関して混乱が予想される場合、それに対応しようと考えておられますか」（7-2）と尋ね、自由記述を求めた。結果として、以下のような内容が記されていた。

1. 教育日数の確保（幼稚園・小学校）

（影響）

- ・今年度に関しては、4月5月にできなかったものを6月から3月までの期間で行えるように準備しています。
- ・学年末までに履修を終えることができるかどうか。次年度にまたがってしまった場合の対応。自由な長期休業（夏休みなど）が削減されることによる、心理的な負担。

（工夫）

- ・季節に関する遊びに関しては、図鑑や絵本の利用。
- ・学びの保障のために、指導の重点化、単元の入れ替えなどカリキュラムデザインが必要。
- ・学期の終始時期、時数の確保状況にもよるが、家庭との連携（家庭学習との関連、充実）なども考慮に入れて、学習を保障していく必要がある。また、授業や活動の形態については、方法の工夫、ICTの利活用など考えていかなければならないと思う。

2. 子どもの育ちへの影響

（1）影響

- ・園での活動ができなかったことで、各家庭によって育ちが違おうであろう。
- ・夏のプール遊びや運動遊びの規制が厳しくなり、十分な活動の経験が出来ないまま卒園⇒就学となってしまう事。
- ・休校期間の学びの差が生じているのをうめることや、生活リズム、生活習慣の乱れ。
- ・学習しなければならないことが残っており、詰め込みになったり、児童が楽しみにしていたことができなかつたりして、不登校が増えることが心配。

（2）工夫

- ・子どもたちが不安にならないように、保育の補助が必要なクラスには集中してフリー保育士や短時間保育士がサポートする。
- ・普段より多くの手紙や連絡をしている。
- ・例年以上に子どもの心の状態を注視する必要があると思います。また、行事が軒並み中止になるので、学級やグループ活動等小さな単位の活動で成就感をもたせることが大切だと考えます。

- ・子どもにとって本当に必要なことは何かという視点でマネジメントしていく。

3. 行事の調整（就学前施設が多い）

(1) 影響

- ・従来通りの保育が難しいため集団で行う行事ができない。
- ・例年経験している行事を経験できない可能性がある。

(2) 工夫

- ・保護者からの心配の声が予測されるので、子どものみの行事にしていく等、縮小して、これ以上子どもの楽しみを減らさないようにしていきたい。
- ・通常スケジュールで行事や取り組みを行うと子ども達に負荷がかかり過ぎる可能性があるため、子どもの姿を見て、見直ししながら進めて行くことが求められる。

4. 9月入学について

- ・9月入学が本当に来年から行われた場合は大混乱がおこると思います。そのようなことを行うには各学校のカリキュラム，社会問題に対応できる内容を準備するのに最低3年以上の準備期間が必要だと思います。
- ・今9月入学が語られ，来年度の収量が3月なのか8月になるのかでカリキュラム等が変わっていくので困っている。